



## 年度活動状況(1994~95年度)



## 334 複合地区スローガン

分かちあう愛 信じあう心

## 334 - A 地区スローガン

ウイサーブ 照らせ世界を 愛の力で

## 蒲郡マリンライオンズクラブスローガン

みんなの和 奉仕の輪

## 第6年度 会長挨拶 L永田武満

蒲郡マリンライオンズクラブ CN10周年おめでとうございます。満10年と言う節目絶余曲折も有りましたが会員はじめ各クラブ及び関係各諸団体の多くの皆様方のご協力を仰ぎここに10周年を迎える事は我がクラブの歴史の1ページに深く刻む事が出来ました。私は1994年7月から1995年6月まで蒲郡マリンライオンズクラブ第6代目の会長として幹事L加藤寿則との二人三脚コンビで一年をまつとうしました。その節には有難うございました。振り返りますと、私自身随分と我侭で勝手な独創、独走、独奏、性を多く出しブレーキ役は主に幹事と会計L鈴木修身、協力組は各理事、よき理解者は会員でした。又外に対して蒲郡クラブ会長は幸い気の合った親友のL壁谷良幸、幹事のL梅村和弘は幹事L加藤と大の仲良しと言う事ですべて何事も話し合いが出来、お互い協力しあった甲斐で大きな成果を挙げる事が出来ました。特筆すべき「アクティビティ」は秋の文化講演会星野仙一語る「我が野球人生」は大ホールに観衆が溢れ小ホールに大型スクリーンを配置し、2800名を越す一般市民の皆様に聞いて頂いた事は終生忘れる事の無い事業で有りました。

この年ZCは豊川クラブのL高柳、ZCAL清水でRCは豊橋西クラブのL朝岡で有った。あれから5年経過した現在も当時の新城LC、蒲郡LC、豊川LC、東栄LC、蒲郡マリンLC、6クラブ会長、幹事経験者、Z役員経験者が年2回集い「のんほん会」なる名称で旧交を暖めています。この会の特徴は年齢、財産、地位、の上下の差は無く、老いも若きも一緒に意気投合し研究会や時には飲み、歌い、踊り、ゴルフ旅行に出かける等、今ではなくては成らない待ち遠しい最高のグループです。ライオンズクラブのメンバーで良かったと実感する次第です。

## 役員組織

会長	永田 武満	二年理事	水野 雄二
前会長	市川 伊嗣	山口 正	山口 正
第一副会長	井澤 敏雄	鈴木 孟	鈴木 良朗
第二副会長	野田 孝道	山田 金弥	山田 金弥
第三副会長	榎本 尚史	石川 杉夫	石川 杉夫
幹事	加藤 寿則	福沢 君夫	福沢 君夫
会計	鈴木 修身	吉見 敏春	吉見 敏春
ライオンテーマー	市川 寛	市川 貞夫	市川 貞夫
テーラツイスター	金森 尚弘	石田 敬二	石田 敬二
会員理事	高橋 二郎	大岩 敏郎	大岩 敏郎
		大竹 敏	大竹 敏
副幹事		平野 優	平野 優
副会計		三浦 雅敏	三浦 雅敏
副ライオンテーマー		小田 倉平	小田 倉平
副テーラツイスター		小田 昭二	小田 昭二
会計監査委員	(正) 山本四十三	(正) 山本四十三	(正) 山本四十三
会計監査委員	(副) 大岩 敏郎	(副) 大岩 敏郎	(副) 大岩 敏郎

## リジョン役員

2R・PR委員 大原 義政

## 運営委員会

(第一副会長 井澤 敏雄)	(◎委員長 ○副委員長)
会員委員会	○高橋 二郎 ○市川 伊嗣
計画委員会	○大竹 敏 ○竹内 健 ○徳永 由也
	○山本四十三
会則付則委員会	○吉見 敏春 ○石田 敬二
(第二副会長 野田 孝道)	
出席委員会	○夏目 光規 ○鈴木東太郎
PR委員会	○鈴木 良朗 ○伴 捷文 ○味岡 正
財務委員会	○三浦 雅敏 ○大浦 武夫
(第三副会長 榎本 尚史)	
指導力育成委員会	○大岩 政寛 ○山本 孝
大会委員会	○水野 雄二 ○市川 詔一 ○夏目 憲行
情報委員会	○木村 利男 ○牧原 清二

## 事業委員会

(第一副会長 井澤 敏雄)	
社会福祉委員会	○福沢 君夫 ○伴 正敏 ○鈴木 勝廣
三献推進委員会	○山田 金弥 ○小田 二郎 ○鈴木 利夫
(第二副会長 野田 孝道)	
環境保全衆安委員会	○石川 杉夫 ○平野 優 ○小畠 利夫
市民教育奉仕委員会	○山口 正 ○夏目 勝美 ○平野小弥太
(第三副会長 榎本 尚史)	
YE・LCIF委員会	○鈴木 孟 ○近藤 宏 ○稻葉 紀勝
薬害糖尿病委員会	○鳥居 憲臣 ○近藤 洋光 ○尾崎 保久

## \*特別委員会

水藤 勇	高橋 二郎	小田 多良
深津 六郎	鈴木 殖夫	鈴木 靖夫
鈴木 敏允	森 桂吾	市川 直
市川 伊嗣		



## 年度活動状況 (1994～95年度)

## 第6年度 主なアクティビティと行事

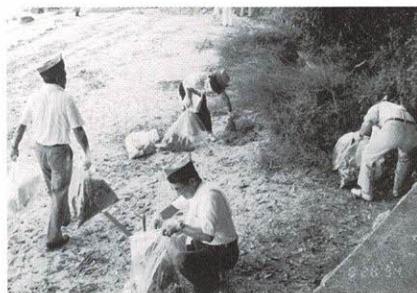
1994年

8月

- 蒲郡クリーンキャンペーン協賛。竹島海岸周辺清掃（参加人員85名）  
わかしゃち国体に備え早朝、額に汗した本当の労力奉仕活動を展開する。

9月

- 第6回スナイプ級ヨット世界選手権大会贊助金の他、労力奉仕。  
L井澤、L木村、L鈴木東太郎、L三浦、(元学生ヨット選手の方) 労力奉仕



11月

- 第6回市民文化講演会 講師 星野仙一氏 テーマ「星の数だけ夢を見て」  
観客動員数2,800名余、大・中ホールを使用する。(1,525,864円)

12月

- LCIF1,000ドル献金(401,000円)  
L鈴木 孟、L石川杉夫、L尾崎保久、L永田武満の4名献金。



1995年

1月

- 阪神淡路大震災義援金 送金総額(707,670円)  
クラブより(例会承認分)50万円とチャリティボーリング大会収益金207,670円。

3月

- 蒲郡市内ご高齢者の方へ交通安全用「ヒールライト」を贈呈する。





## 年度活動状況(1995~96年度)



## 334 複合地区スローガン

簡素化と 叡知で築こう 愛の奉仕

## 334-A 地区スローガン

ウィサーブ ライオニズムは世界を結ぶ

## 蒲郡マリンライオンズクラブスローガン

ひろげよう 奉仕の波紋

## 第7年度 会長挨拶 L.井澤敏雄

私達のクラブが発足する3ヶ月位前の事でした。当時の蒲郡ライオンズクラブの会長、L.鈴木靖夫より依頼が有り、色々考えました。名称は海にちなんで蒲郡マリンライオンズクラブに、マークは日の出と共に出航するヨットをあしらった図案にした所、採用されて喜びもひとしおでした。チャーターナイトの時、その2種類をテレホンカードにして、2000枚をメンバー全員で販売し、その収益金を施設に寄付致しました。

そして7年目の会長、クラブのスローガン「ひろげよう奉仕の波紋」をモットーに船出致しました。その第一例会は、競艇場での、トライアスロンワールドカップ会場での献眼、献腎登録運動には各250人の署名を得る事が出来ました。

7月26日(日)、「伊勢湾クルージング」と名うって、バス9台を連ねてのアクティビティ兼夏期家族会、姉妹提携クラブである飯田赤石ライオンズクラブ、親クラブの蒲郡ライオンズクラブ、東栄ライオンズクラブが友情参加。つつじ寮生、蒲郡ボイスカウト、一般市民の方々にも、大変喜んでいただきました。11月20日(月)飯田赤石ライオンズクラブの5周年事業の一貫として、りんご80箱が、当市の6社会福祉施設へと贈られました。11月29日(水)青少年育成講演会、友人で有る元暴走族総長、伊藤幸弘氏のお話では、甘ったれ、さみしがりや、我がままの三拍子そろった子供が非常に走り易いとの事。歯止めは、母の愛情につきるとの事でした。3月23日(土)盲目の越智氏のチャリティーバノンサート。つづいて4月13日(土)チャリティーバザールでは3000点、417,335円の収益、眺海園に大型カラーテレビ2台を寄贈しました。

最後に6月29日(土)、環境保全イメージソングの発表会、全市の保育園児の大合唱で「もしも魔法が使えたら」を披露、あれやこれやで市民行政を巻き込んでの我がクラブの善戦でした。

## 役員組織

会長	井澤 敏雄
前会長	永田 武満
第一副会長	山本 孝
第二副会長	中瀬 充二
第三副会長	近藤 宏
幹事	大岩 敏郎
会計	吉見 敏春
ライオンテーマー	稲葉 紀勝
テールツイスター	松井 一夫
会員理事	市川 伊嗣
副幹事	尾崎 保久
副会計	鳥居 憲臣
副ライオンテーマー	伴 正敏
副テールツイスター	尾崎 勝美

## リジョン役員

2RYE副委員	平野 優
---------	------

## 二年理事

岡田 光男
夏目 勝美
小田 昭男
徳永 由也
山本四十三
水野 雄二
山口 正
鈴木 孟
味岡 正
夏目 憲行
山田 金弥
市川 直
野田 孝道

## 運営委員会

## (第一副会長 山本 孝)

会員委員会	○市川 伊嗣	○森 桂吾
計画委員会	○夏目 憲行	○小田 二郎 ○市川 寛
	○松井 一由	
会則付則委員会	○野田 孝道	○夏目 光規
(第二副会長 中瀬 充二)		
出席委員会	○水野 雄二	○小田 倉平
PR委員会	○味岡 正	○大原 義政 ○竹尾喜一郎
財務委員会	○市川 直	○榎本 尚史
(第三副会長 近藤 宏)		
指導力育成委員会	○山本四十三	○鈴木 修身
大会委員会	○岡田 光男	○市川 貞夫 ○牧野 孝彦
情報委員会	○河井 勤	○家治川 修

## 事業委員会

## (第一副会長 山本 孝)

社会福祉委員会	○夏目 勝美	○尾崎 勝美	○石田 敬二
四献推進委員会	○徳永 由也	○鈴木 利夫	○松井 廉彦
(第二副会長 中瀬 充二)			

環境保全公衆安全委員会	○小田 昭男	○大竹 敏	○松井 一由
市民教育奉仕レオ委員会	○山田 金弥	○福沢 君夫	○鈴木 敏允
(第三副会長 近藤 宏)			

YE委員会	○吉見 重夫	○関原 健一
LCIF委員会	○鈴木 孟	○高橋 二郎
薬害糖尿病委員会	○山口 正	○金森 尚弘
*特別委員会	水藤 勇	高橋 二郎
	深津 六郎	鈴木 殖夫
	鈴木 敏允	小田 多良
	森 桂吾	鈴木 靖夫
	市川 伊嗣	市川 直
	永田 武満	



## 年度活動状況(1995~96年度)

## 第7年度 主なアクティビティと行事

1995年

7月

- 第1回トライアスロンワールドカップ

献血・献血登録500名突破

- 伊勢湾クルージング 379名参加



11月

- 青少年育成講演会 講師 伊藤幸弘氏 演題 「非行の心」

- 越智章仁氏 ピアノコンサート すばらしい演奏でした。



- 飯田赤石LC結成5周年記念
- 蒲郡市福祉施設へりんご80箱を贈呈
- 環境美化イメージソング審査発表

受賞 「まほうがつかえたら」

特別賞 「ほくらの地球は青い宝石」

△ 「たすけてチャイルドマン」

金子美春さん

増山久美子さん

匿名希望

1996年

2月

5月

6月





## 年度活動状況 (1996~97年度)



## 334 複合地区スローガン

美しき友愛のきずな 心うつ愛の奉仕

## 334-A 地区スローガン

つなげ世界を 奉仕の橋で

## 蒲郡マリンライオンズクラブスローガン

深めよう友愛 笑顔で奉仕

## 第8年度 会長挨拶 L 山本 孝

クラブ8年目、先輩ライオンが築いて来た伝統をふまえ、時代の変化に合せ、如何に奉仕活動を盛り上げるか、共に汗を流したこの一年を振り返る。

「深めよう友愛、笑顔で奉仕」をスローガンにスタート、特に奉仕活動では、自然とのふれあい、潤いのある人間性を強調した活動に各委員会が應えてアイデアを出し合って多くのアクティビティが出来たことに感謝したい。社会福祉委員会はつづじ寮生等45名を招き、L井澤の農園で、秋の自然を満喫し乍ら、芋掘りと焼芋パーティーを愉しんだ。此の企画は半年の準備と当日の強風の苦労があったが、寮生の歓声や喜々として手を振ってバスで帰る姿にメンバーの苦労を忘れさせた。市民教育委員会は伝統の文化講演会の講師に、桂小金治師匠を招き「人の心に花一輪」と題し、師匠の貴重な体験を通じて子供の教育論を、独特的話術で笑いと感動とが折重なり、市民会館大ホールの聴衆は時間を忘れて聴き入った。次代を担う子供の教育に親がもっと真剣に取組むべきを痛感した。心を打つ話だった。四献推進委員会は秋の市民健康祭りの献血者、献血登録者380名に赤のポインセチアの花を贈り、環境保全委員会は秋の交通安全市民運動に又、市のクリーンキャンペーンに協力し、西浦海岸での清掃には40名が参加。5月のチャリティ昼市は盛況の中、売上金で社会福祉協議会に障害児用遊具を贈り、6月には新蒲郡市民病院の竣工を記念し、記念樹の楠と「望」と刻んだ記念碑を贈りクラブの名を残すこととした。飯田赤石LCとの交流は四年目の今年は特に充実した内容で絆を深めた。親クラブの蒲郡LCは今年35周年に当り、多くのイベントに協力して祝福した。又クラブ2人目の女性ライオンが誕生、クラブの明るさを増した。今年のアクティビティの総額は約611万円であったが、奉仕は金の多少ではなく、流した汗と費やした時間の量が如何程かに価値があることを実感した。

## 役員組織

会長	山本 孝	二年理事	小田 二郎
前会長	井澤 敏雄	ク	尾崎 保久
第一副会長	吉見 敏春	ク	金森 尚弘
第二副会長	嶋田 栄治	ク	鈴木 勝廣
第三副会長	味岡 正	一年理事	岡田 光男
幹事	山口 正	ク	夏目 勝美
会計	夏目 慶行	ク	小田 昭男
ライオンテーマ	小田 幸重	ク	徳永 由也
テールツイスター	尾崎 勝美	ク	山本四十三
会員理事	森 桂吾	ク	野田 孝道
副幹事		牧原 清二	
副会計		吉見 重夫	
副ライオンテーマ		坂崎太豆夫	
副テールツイスター		小林 弘忠	

## リジョン役員

2RYE 委員	平野 優
---------	------

## 運営委員会

(第一副会長 吉見 敏春)	(◎委員長 ○副委員長)		
会員委員会	○森 桂吾	○永田 武満	
計画委員会	○小田 二郎	○山田 金弥	○松井 一夫
会則付則委員会	○鈴木 孟		
(第二副会長 嶋田 栄治)	○山本四十三	○深津 六郎	
出席委員会	○鈴木 利夫	○大隅英太郎	
大会委員会	○徳永 由也	○石川 杉夫	○吉見 重夫
財務委員会	○野田 孝道	○加藤 寿則	
(第三副会長 味岡 正)			
指導力育成委員会	○鈴木 修身	○市川 直	
PR委員会	○金森 尚弘	○伴 捷文	○近藤 綾子
情報委員会	○市川 貞夫	○鈴木 敏允	
事業委員会			
(第一副会長 吉見 敏春)			
社会福祉委員会	○鈴木 勝廣	○小田 幸重	○市川 拓
四献推進委員会	○松井 康彦	○石田 敬二	○鳥居 憲臣
(第二副会長 嶋田 栄治)			
環境保全公衆安全委員会	○尾崎 保久	○牧原 清二	○稻葉 紀勝
市民教育奉仕レオ委員会	○小田 昭男	○市川 伊嗣	○尾崎 勝美
(第三副会長 味岡 正)			
YE委員会	○関原 健一	○市川 寛	
LCIF委員会	○夏目 勝美	○小林 弘忠	
薬害糖尿病委員会	○岡田 光男	○徳永 由也	
*特別委員会	水藤 勇	高橋 二郎	小田 多良
	深津 六郎	鈴木 殖夫	鈴木 靖夫
	鈴木 敏允	森 桂吾	市川 直
	市川 伊嗣	永田 武満	井澤 敏雄



## 年度活動状況(1996~97年度)

## 第8年度 主なアクティビティと行事

1996年

9月

- 秋の交通安全市民運動に警察署前でドライバーへ呼びかけ
- 蒲郡クリーンキャンペーン。西浦海岸に40名参加。

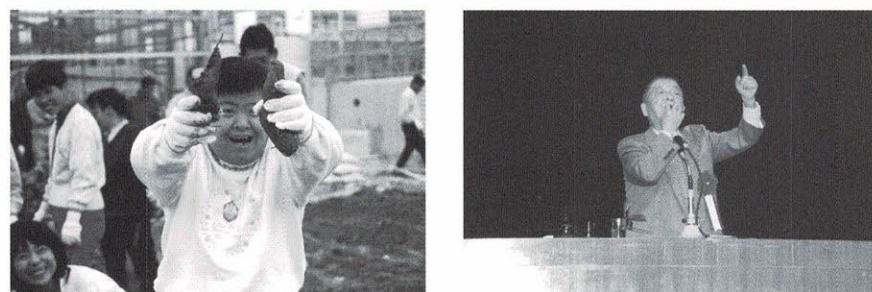


10月

- つつじ寮生、いも掘り大会。
- 市民健康祭りに献血、献腎、献眼登録運動に380名

11月

- 第7回市民文化講演会  
講師 桂 小金治師匠 演題 人の心に花一輪



1997年

2月

- LCIF1000 ドル献金9名

5月

- まちおこしチャリティひる市の開催

6月

- 新蒲郡市民病院へ記念樹楠と記念碑の寄贈
- 蒲郡市社会福祉協議会へ障害児用わんぱくビートルを寄贈





## 年度活動状況(1997~98年度)



## 334 複合地区スローガン

愛と誇りと友情と……もっと光を!!

## 334-A 地区スローガン

友情と愛の奉仕で 輝く未来

## 蒲郡マリンライオンズクラブスローガン

みんなの力で 身近な奉仕

## 第9年度 会長挨拶 L.吉見敏春

波乱万丈常識破壊の平成9年に会長を就任しました。平成9年は円安、株安、債券安、まるで日本の不信感から「日本売り」と言う新語が生まれました。又11月には抱えこんだ不良債権の重みに耐えかねて、土地転がし、株転がしをしているうちに金が回らなくなって銀行、証券会社の相次いで倒産の悲劇でした。

私が会長に就任しての第一例会が夏期家族会でした。計画委員会担当にてナゴヤドーム元年と言うことで、野球観戦でした。これには青少年育成としまして、市内野球少年とボイースカウト計75名を招待しました。又姉妹クラブ飯田赤石ライオンズクラブより20名の方が参加されまして、総勢200名で観戦しました。野球少年たちは始めてのドームに興奮していました。

青少年問題を考えまして現代多発傾向になっている、薬物およびアルコール類の乱用は世界中の若者の生命と将来を脅かしています。当クラブとしまして、いかにして中学生が薬害に対しての知識を身につけていただき、いかにして薬物の誘惑に抵抗するべきかを、予防的な啓蒙運動の一環として市教育委員会に薬害に対するビデオテープ21巻を贈呈しました。

次年度は周年の年であり環境問題を考えると言うテーマで、本年度より一部記念事業に取組む、池の浄化住宅地区内にある岡池の水質浄化であります。この運動には一般市民、小学生、子供会によるEMダンゴ作り、微生物の混じったセラミックスを粘土に混ぜ約5000個ほど作りました。10周年に向って全員で頑張りましょう。

役員組織	二年理事	鳥居 憲臣	運営委員会	(◎委員長 ○副委員長)
会長	吉見 敏春	大岩 政寛	(第一副会長 河井 勤)	
前会長	山本 孝	伴 捷文	会員委員会 ○深津 六郎 ○永田 武満	
第一副会長	河井 勤	尾崎 勝美	計画委員会 ○山田 金弥 ○夏目 勝美 ○松井 一夫	
第二副会長	小田 昭男	市川 寛	△ ○山口 正	
第三副会長	岡田 光男	一年理事 小田 二郎	○大岩 政寛 ○大浦 武夫	
幹事	夏目 憲行	金森 尚弘	(第二副会長 小田 昭男)	
会計	近藤 洋光	鈴木 勝廣	出席委員会 ○小田 二郎 ○鈴木 孟	
ライオンテーマー	三浦 雅敏	尾崎 保久	大会委員会 ○鳥居 憲臣 ○大隅英太郎 ○柳原 幸博	
テールツイスター	鈴木 俊一	閑原 健一	財務委員会 ○鈴木 修身 ○大岩 敏郎	
会員理事	深津 六郎	山田 金弥	(第三副会長 岡田 光男)	
			指導力育成委員会 ○金森 尚弘 ○鳴田 栄治	
副幹事	吉見 重夫		PR 委員会 ○伴 捷文 ○近藤 綾子 ○森 桂吾	
副会計	伴 正敏		情報委員会 ○牧原 清二 ○野田 孝道	
副ライオンテーマー	松井 慶彦		事業委員会	
副テールツイスター	近藤 綾子		(第一副会長 河井 勤)	
リジョン役員			社会福祉委員会 ○閑原 健一 ○石田 敬二 ○竹尾喜一郎	
2R2ZZC	鈴木 敏允		四献推進委員会 ○尾崎 保久 ○小田 二郎 ○加藤 寿則	
2R2ZZCA	井澤 敏雄		(第二副会長 小田 昭男)	
			環境保全公衆安全委員会 ○尾崎 勝美 ○中瀬 充二 ○三浦 雅敏	
			市民教育奉仕委員会 ○市川 寛 ○井澤 敏雄 ○吉見 重夫	
			(第三副会長 岡田 光男)	
			YE 委員会 ○小田 倉平 ○竹内 康彦	
			LCIF 委員会 ○松井 一由 ○山本 四十三	
			薬害糖尿病アイヘルス委員会 ○鈴木 勝廣 ○松井 廉彦	
			*特別委員会 水藤 勇 高橋 二郎 小田 多良	
			深津 六郎 鈴木 殖夫 鈴木 靖夫	
			鈴木 敏允 森 桂吾 市川 直	
			市川 伊嗣 永田 武満 井澤 敏雄	
			山本 孝	



## 年度活動状況(1997~98年度)

## 第9年度 主なアクティビティと行事

1997年

7月

- 市内野球少年、ボーイスカウトと野球観戦に協力(名古屋ドーム)
- 来日ユース Mr.CASSEGRAN BENOIT 君



10月

11月

- 六施設合同ふれあい大運動会に参加(つつじ寮)
- 市民健康まつり、四献推進キャンペーン(体育センター)
- 文化講演会、教育評論家 阿部 進先生



1998年

3月

- 飯田赤石LCと幡豆海岸にて友交潮干狩り

5月

- クリーンキャンペーン 530運動参加(海洋ヨットハーバー)

6月

- 青少年の薬害に対する啓蒙運動  
市役所教育課へビデオテープ21巻贈呈



# 追 悼



## 故 L 鈴木 利夫

住 所 蒲郡市府相町端廻

職 業 (株)鈴木商店 代表取締役

平成 10 年 7 月 30 日 ご逝去

## 利夫君をしのんで

元気印を自他共に認めていた鈴木利夫君の逝去の報に接し驚きと無常の悲しみに。

遊びでも、スポーツでも奔放な彼が人生を楽しく有意義に生き続けられたのも「今が最高」「今が楽しく幸せ」と思いその時を大切に実行した事だと思う。

51年会社を設立する前も、その後も常に変わらぬ友情で接してくれた。特にオイスカ活動には力を入れてくれ、資金獲得にと風せん売り、ジュース、野菜売りに大声で汗を流しながら、人を笑わせ、引き付け頑張ってくれたのが脳裏によぎり、今更ながら彼の行動力、人間性を思い出しています。

「人の生の常ならむ事は知りつつも惜しまれて逝くが男の花道」とは言いながらも突然の死に唯愕然とするばかりです。

人生いつも力一杯に生き、全力投球、全力疾走をしてこられた彼は「目が見え」「耳が聞え」、「話しが出来る」「歩ける」「麻雀、ゴルフ」が出来るあたりまえのありがたさもそれが出来なくなった時に本当に当たり前だと思っていたことに感謝の心が湧いてくる、つらいと思ったり苦しいと思った事も楽しいという気持ちになれる。

この世の中「損得」「好き嫌い」で過ごすなどという事は本当につまらないことですと、モラロージという最高道徳の理解者、実践者がありました。「智思感恩」ありがとう毎日毎日が感謝の気持ちで生活していたのが思い出されます。

「人生は出会いであり、人ととの縁が運命を決めて行く」のだと思い噛みしめている現在です。私は今生きている事、ボランティアを実践出来る事を彼の「有難い」という言葉を大切に思い乍ら頑張って行こうと考えていますので見守って下さい。

そして金沙を以て地にしけりという七宝の池の蓮華のうてなの上で好香にひとりながらゆっくりとおやすみ下さるようにお祈り申し上げます。

合掌

L 鈴木 靖夫